



21世紀の民族大移動

シリアからの難民の話題がテレビを賑わしている。船が難破、幼い子が犠牲になった。人口千七百万人の半数が難民化と云う話もある。これは正に「民族大移動」だ。

元はイラク戦争

「イラクに大量破壊兵器がある」と嘘を云って、ブッシュはイラクを制圧。石油利権を手に入れた。親兄弟妻子を殺されて米国への恨みは深い。それでISは生まれたと思う。

シリアでは

ロシアはシリアの地中海岸のタルトゥースに海軍基地を持つ。「自国の勢力圏」とばかりにアサド政権を支援。一方、米国は自国の勢力圏にしようと反政府勢力を応援。が、訓練

した兵士は殆どISに行き、残ったのは四、五人と統合参謀本部議長が議会で証言。

難民は・・・

命あつての物種と、家や家財を処分。大枚を「難民輸送業者」に払ってEUを目指す事態になった。「難民輸送」や処分した家財に群がり、ビジネスチャンスとしている輩もいるのだ。

難民支援というが

住居も仕事もない難民に支援が急がれる。同時に、難民発生の根本原因に手を打つべきではないか？即ち、米露の干渉を止めさせ、域外からの武器の提供を止めることが肝要ではないだろうか？
みなさんはどう思われますか？

イギリス海岸

岩手県花巻市北上河畔



日本美術会岩手写生会(合宿)にて

宮澤賢治は花巻農学校の教員をしていた。彼は夏の農業実習の合間に、生徒達を連れて、この場所を訪れた。そこで、動物の足跡の化石、胡桃の化石などを見つけたという。

とうとうと流れる北上川の本流に、西の方から瀬川が流れ込む。その川底は凝灰岩質の泥岩。宮澤賢治はイギリスのドーバー海峡に面した海岸に見られる白亜紀の凝灰岩質泥岩を連想して「イギリス海岸」と名付けたという。

今は上流にダムが出来、常時ある程度の水量があるので、川底が露出することは余りないという。僅かに島が水面に顔を出している。ここでは化石が採れるということだが、採集するには文科省の許可が必要と掲示板にあった。

二週続けてお休みする予定です。